ENERGY for high quality life.

ENEQ NAVI Vol.028

株式会社 エネック　令和８年６月８日
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-4-6
TEL 052-433-3891／FAX 052-433-3892
代表取締役 渡邉 裕介　y-watanabe@eneq.jp

記念品－マフラータオル

本年 2026 年は弊社の前身となる「鈴木石炭商店」が 1891 年に創業して 135 周年となります。このように永きに亘って事業を続けてこられたのもひとえに皆様方のご支援あってのことと強く感じております。改めて深く感謝申し上げます。
振り返りますと、第二次世界大戦やｵｲﾙｼｮｯｸなど様々な苦難を経て、今また中東情勢の悪化に伴うホルムズ海峡封鎖という大きな危機に直面しています。そこで今回、国や言語・文化・宗教を越えて平和を希求し、また亡くなられた方への鎮魂の意を込めたメッセージを英語・中国語・ペルシア語・アラビア語・ロシア語で表現し、「マフラータオル」を制作しました。御取引先の皆様や一般の方とも「連帯」を感じられればと思っています。

戦争から 100 日、終結はいまだ見通せていません。1 日でも早い収束を祈念いたします。

代表取締役　渡邉 裕介

潤滑油調達は難航続く

JR 東海や三菱重工業といった大企業にあっても調達が難航していると報じられました。現在は 3,4 月のﾊﾞｯｸｵｰﾀﾞｰが捌けた段階で、6 月から作動油や摺動面油等一部油種は出荷再開されたものもありますが、**依然として出荷・数量の厳しい規制が続いています**。経済産業省の指導により**前年同月比 100%以下**の縛りがあり、**メーカーによっても出荷可能な状況が異なります**ので、その**都度早めにご相談ください**。整備の期ズレや新しい機械の導入など現場の事情もあるの中、納期や供給の正常化には程遠い状況です。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

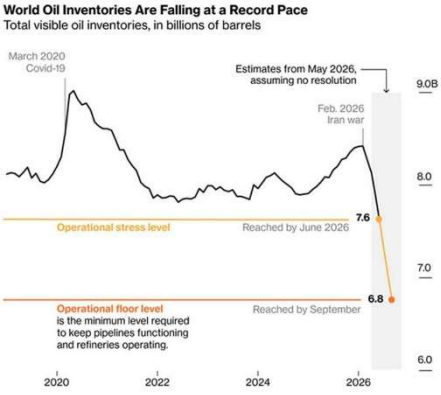
ガソリン補助金は縮小へ

6 月 5 日、**2026 年度補正予算が成立**、ガソリン代などの燃料費補助に使用する「中東情勢等対応予備費」に 2.5 兆円が計上されました。
石油・ガス・電力は大幅な値上がりとなる見込みで**7～9 月の電気・ガス代(プロパンガスを含む)の負担を減らす**方向です。また、ガソリン補助金は補助額を減らして調整される見込です。**物流コストの上昇は避けられず**、幅広く影響を受けることになります。一方、**補助金政策は需要抑制とは逆行し、金利上昇やさらなる円安につながる**として、見直しを求められています。

Japan's Takaichi is her own worst energy enemy

6 月 1 日の**ロイター通信は「日本の高市氏は自国のエネルギー政策にとって最大の敵」と指摘**しています。高市首相は衆院予算委で、3 月の「**日米首脳会談の際にホルムズ海峡への自衛隊派遣を巡って、トランプ大統領と協議した**」としており、米国へ傾倒しイランとの交渉を忌避した政権が**「目詰まり」で逃げていい話ではなく**、現場は存続をかけた苦難が続いているのです。4 月下旬以降、中東産原油はホルムズ海峡以外のルートから少しずつ調達され、6～7 月の需給は緩和されると考えられます。しかし、**一時供給再開があっても世界の供給体制が正常化したわけではありません**。国際通貨基金（IMF）、国際エネルギー機関（IEA）などの首脳は 29 日、事実上の封鎖が続くホルムズ海峡の通航が正常化しなければ「**石油需要がピークを迎える北半球の夏を前に石油在庫が急減し、燃料の安定供給、市場環境などへのリスクが高まる**」とする共同声明を発表しました。

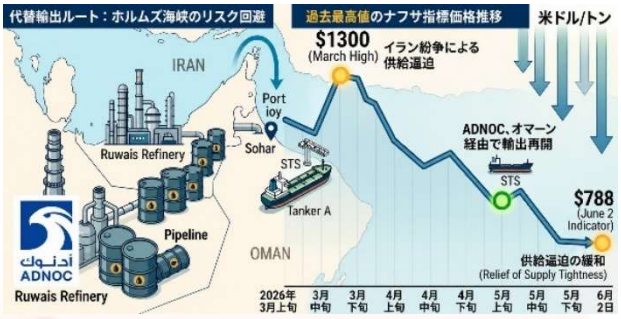
米国の戦略的備蓄が減少し続ける中、バッファが効かなくなった時、本当の「詰み」がやってきます。白黒パッケージにすると「売名行為」とされる世の中ですが、危機管理は大切だと思います。



LPG の動向

LPG6 月 CP は原油の下落に反してプロパン$10/ブタン$20 の引き上げとなりました。家庭用プロパンガスは 4-5 月の急騰に対し、補助金の対応があります。

一方、工業用ブタンガス国内需給はタイトとなっており、一部需要抑制が図られています。米国産シェールガスは大きくシェアを占めるとはいえ、中東産 LPG の供給の滞りが大きく影響しています。このため、新規での御取引は当面難しくなっています。当社が販売する御取引先においてはタクシー向けオートガスを含めて安定供給を続けてまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。

ADNOC が供給体制強化

アラブ首長国連邦（UAE）の国営石油会社アブダビ国営石油（ADNOC）が製油所からタンカーで貨物を運び、ソハール港で別のタンカーに積み替えてアジア向けに輸出する「船から船への積み替え（STS）」と呼ばれる手法で輸出を再開しました。ADNOC の回避策は、ホルムズ海峡通過のリスクを避けたい買い手にとって代替供給ルートとなり、アジアへの供給量増加につながります。